

第 7 表 府県別上水道、簡易水道および専用水道の現況

「上水道業務統計調査」および「全国水道施設調査」による。年間の数字は年度間の実績をその他の項目は年度末現在を示す。用途別年間給水量の内事業用は営業用と工場用を合したものである。なお普及率は給水人口を総人口で除したものである。

区 分	上 水 道							簡 易 水 道			専 用 水 道		
	管路延長 千 ^m	給水人口 千	用途別年間給水量 千 ^{m³}			1日当り 最大 給水量 千 ^{m³}	普及率 %	給水人口 千	実績年間 給水量 千 ^{m³}	普及率 %	給水人口 千	普及率 %	
			総 数	(内)家庭用	(内)事業用								
府県および都市 昭和40年	111 507	56 402	4 423 871	2 412 806	1 135 519	21 483	0.6	9 277	437 115	0.1	2 543	0.0	
北 海 道	道	4 559	2 432	150 589	67 672	29 335	693	0.5	376	21 175	0.1	267	0.1
	森	1 254	572	27 678	14 580	5 751	135	0.4	188	7 079	0.1	17	0.0
	手	797	364	19 505	8 665	3 644	101	0.3	131	7 326	0.1	50	0.0
	城	1 925	886	49 012	24 148	15 498	251	0.5	198	8 068	0.1	35	0.0
	田	891	378	20 323	9 854	4 026	100	0.3	250	10 196	0.2	37	0.0
山 福 沢 栃 群 山	形	1 812	559	31 712	16 235	7 249	163	0.5	158	7 016	0.1	11	0.0
	島	1 756	737	50 283	21 269	18 365	256	0.4	193	8 818	0.1	43	0.0
	城	1 165	416	22 353	13 423	4 859	115	0.2	215	5 884	0.1	52	0.0
	木	894	410	30 779	13 611	10 848	151	0.3	87	5 832	0.1	26	0.0
	馬	1 596	716	52 034	28 352	15 960	235	0.5	311	15 122	0.2	19	0.0
埼 千 東 神 奈 新	玉	4 149	1 660	81 162	58 276	11 343	439	0.6	185	7 504	0.1	69	0.0
	葉	2 884	1 179	71 689	61 231	4 785	346	0.4	131	4 020	0.1	61	0.0
	京	10 050	9 271	861 214	724 107	8 819	4 076	0.9	56	3 599	0.0	427	0.0
	川	7 144	3 950	386 880	172 520	164 279	1 789	0.9	130	8 793	0.0	66	0.0
	潟	3 920	1 285	84 810	51 382	18 518	411	0.5	303	13 075	0.1	13	0.0
富 石 福 山 長	山	1 628	492	27 541	14 434	8 370	174	0.5	96	6 303	0.1	20	0.0
	川	1 179	462	32 023	16 587	11 760	163	0.5	130	6 217	0.1	9	0.0
	井	1 372	296	16 234	9 341	3 997	98	0.4	163	7 800	0.2	15	0.0
	梨	809	334	31 693	14 954	6 350	120	0.4	216	10 817	0.3	3	0.0
	野	3 791	1 096	73 796	37 649	21 354	359	0.6	397	22 945	0.2	15	0.0
岐 静 愛 三 滋	阜	1 645	679	38 265	20 356	9 661	204	0.4	376	16 250	0.2	63	0.0
	岡	3 924	1 676	117 884	56 721	42 339	567	0.6	474	26 863	0.2	58	0.0
	知	7 388	3 207	264 255	136 271	80 043	1 350	0.7	642	33 276	0.1	169	0.0
	重	1 995	572	64 250	22 458	20 702	251	0.4	276	11 096	0.2	50	0.0
	賀	1 142	343	21 310	12 868	3 676	107	0.4	146	6 616	0.2	22	0.0
京 大 兵 奈 和 歌	都	2 281	1 581	119 696	9 677	6 480	650	0.8	150	7 435	0.1	23	0.0
	阪	7 634	6 260	644 040	239 526	297 447	3 074	1.0	59	3 606	0.1	52	0.0
	庫	5 309	3 155	228 657	114 303	68 774	1 180	0.7	295	11 899	0.0	97	0.0
	良	1 760	507	29 912	17 801	5 763	149	0.6	91	3 913	0.1	7	0.0
	山	1 122	517	40 146	18 119	13 857	197	0.5	118	8 527	0.1	8	0.0
鳥 島 岡 広 山	取	1 015	275	19 601	13 948	1 744	92	0.5	151	728	0.3	15	0.0
	根	631	306	12 708	5 833	3 468	68	0.4	124	6 057	0.2	5	0.0
	山	2 802	827	67 210	31 107	26 430	342	0.5	149	6 656	0.1	25	0.0
	島	2 697	1 223	111 382	55 868	35 971	489	0.5	121	5 475	0.1	28	0.0
	口	357	781	94 094	21 087	57 381	413	0.5	119	5 630	0.1	36	0.0
徳 香 愛 高 福	島	1 016	338	17 349	9 697	3 522	106	0.4	104	4 277	0.1	16	0.0
	川	1 187	455	26 400	12 242	7 890	138	0.5	89	4 530	0.1	11	0.0
	媛	1 502	561	31 769	17 731	7 111	166	0.4	314	15 083	0.2	45	0.0
	知	576	287	22 183	10 407	5 811	125	0.4	189	11 637	0.2	4	0.0
	岡	4 434	2 178	146 042	86 914	36 467	698	0.6	139	5 935	0.0	330	0.1
佐 長 熊 大 宮	賀	950	332	15 737	9 520	3 236	66	0.4	126	5 823	0.1	31	0.0
	崎	678	813	46 388	28 570	8 471	246	0.5	282	11 149	0.2	51	0.0
	本	1 056	532	30 584	23 223	1 287	169	0.3	220	11 056	0.1	62	0.0
	分	1 280	466	31 914	24 706	2 604	161	0.4	165	7 970	0.1	55	0.1
	崎	1 215	335	18 303	11 317	3 126	93	0.3	119	5 411	0.1	15	0.0
鹿 児 島	2 336	700	42 485	24 249	7 142	205	0.4	329	12 634	0.2	12	0.0	

資 料 厚生省環境衛生局「水道統計」。

第 11 章

運 輸、通 信

第11章 運輸および通信

道路自動車

府下の道路は実延長1万4千km、そのうち装道路は37.5%の5千km余となっている。この装道の割合は39年度27.8%、40年度、33.4%であるから年々上昇をみているのであるが、まだまだ4割に満たない状態である。

一方都市への人口の集中は産業経済の発展にともなうて、最近昼は都心部、夜は郊外という形態になり、昼間の人口流動はげしく、交通事情はなおふくそうの度を極め、加えて自動車の増加も活発で、道路交通はなお深刻な状態にある。こうした中で都市交通の近代化を図るため、高速道路の建設、地下鉄の新設などに力が注がれているが、なお需要の増加には追いつけず、特に府下各地の交通停滞(車列500m以上の渋滞が30分以上継続したもの)は6,772回におよび、40年の44%の激増となった。1日約18.6回でこれはこの3年間に倍増したことになる。月別には12月が全体の17%、曜日別には土曜日が21%、時間帯別には10時~12時、14時~16時が28%づつを占めてそれぞれ最も多い。

自動車の登録台数は50万台で、40年度の17.8%増で4年間で倍増している。そのうち自家用車が89.4%を占めて45万台、中でも小型4輪トラック、乗用小型の自家用が20万台近くあり、これらは過去3年間で倍増するほどの激しさである。

またこれら自動車の交通量は御堂筋が1分間に81.6台で府下主要道路のトップであり、昨年90.6台で御堂筋を抜いてトップに立った。福知山大阪線は69.2台で国道2号線、同26号線、大阪高槻京都線について第5位になっている。

鉄軌道の輸送

人口のドーナツ現象によって、周辺部の新しい住宅地より都心部への通勤、通学者は年々増えていっているが、これらの足となる交通機関の輸送状況は国鉄大阪駅の乗客が年に1億3千万人、1日約37万人となっているが、これを中心として阪急梅田が34万人、阪神梅田が11万人、それに地下鉄梅田、西梅田でざっと26万人で1日の乗客は100万人を突破、これと同数ほどの降客もあわ

すと実に200万人の人たちがこの梅田周辺を歩きかっている。また天王寺周辺では国鉄、近鉄、地下鉄で42万人、難波が南海、地下鉄で28万人、上六、鶴橋が近鉄、国鉄で同じく28万人、京橋、天満が国鉄、京阪で31万人の乗客があり、各ターミナル、および国、私鉄、地下鉄などの乗換駅が多い、またこれらの乗客のうち定期客の割合は大体60~80%程度で、特に国鉄桜島線安治川口の94.1%は府下各駅の最高で次が同じく桜島の90.4%である。

つぎに大阪市営交通機関をみると、まず地下鉄(高速鉄道)が42年3月24日に2号線東梅田~谷町4丁目間3.5kmが開通、年度末現在で全営業キロは35.4kmと、38年からの3年間で倍増近くになり、輸送量でも年間4億人以上となって、遂にバスの輸送量(3億9千万人)をしのごうとなった。市電は年々増大する道路交通需要充足のために毎年その姿を少しづつ消し、41年度末で全営業キロは前年度より10km少なくなって72.6kmとなったものなお年間1億4千万人の輸送に当たっている。またトローリーバスは市営交通機関全輸送量の約5%に当る4,700万人の輸送量である。地下鉄各駅で最も多く乗客を扱うのはなんとといっても梅田の22万人、ついで難波が13万人、淀屋橋、天王寺が11万人づつとなっている。

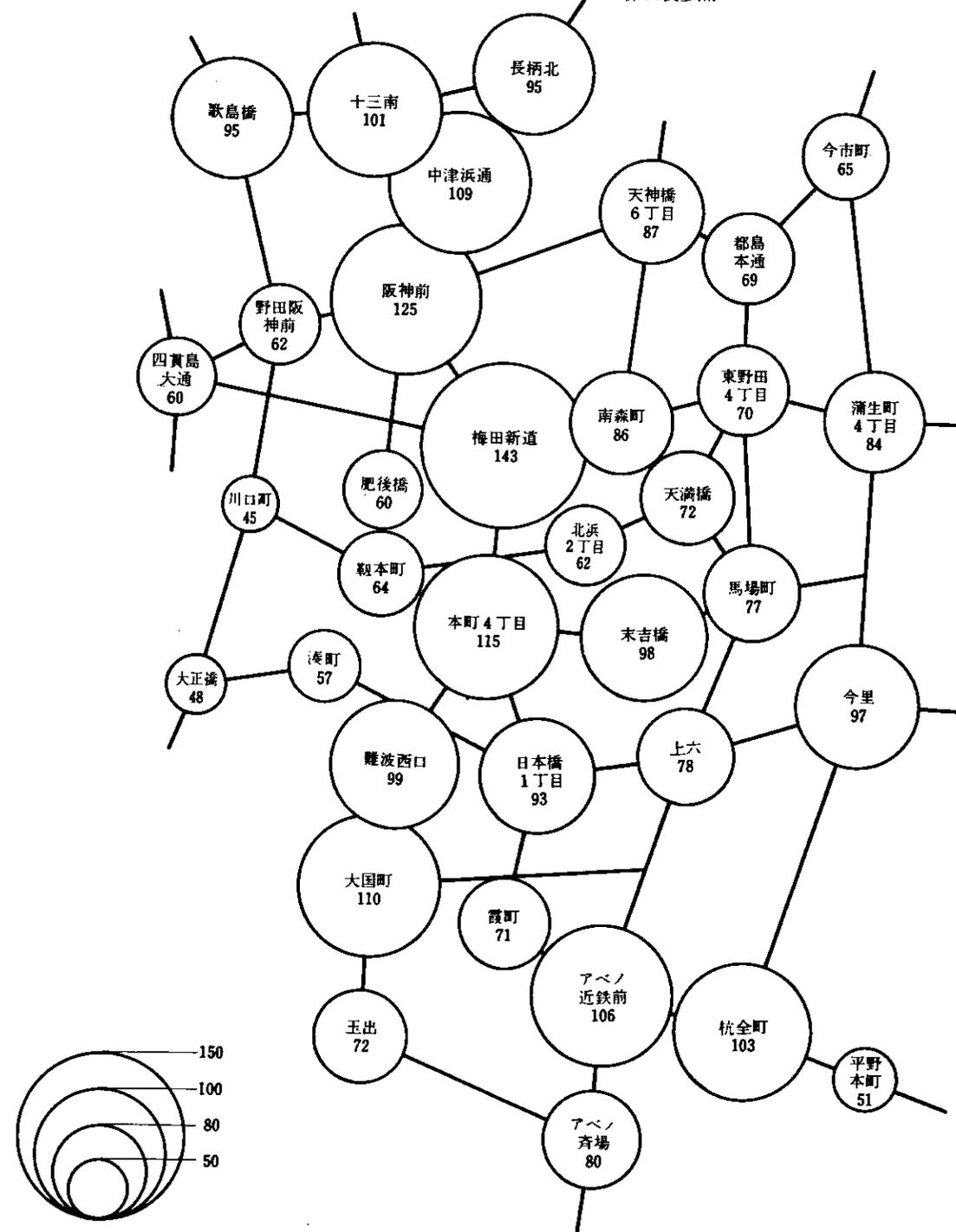
年々増加を続けていた大阪国際空港の航空輸送量は、2月、3月の間に発生した三つの大きな事故が影響してか8.9%の減となり、中でも3月の30%減、8月の38%減は極めて大きい。一方海上の方は大阪港での乗客が国内航路で毎年100万人強ほどあり、別府線が36万人で最も多い。

電 話

府下における開通電話ははじめて100万件を越えて、100人当り普及率は14.7となっている。なおこれを市町村別にみると大阪市が19.5で府下最高、これは熱海、東京について全国第3位で、ついで名古屋、芦屋のあとに箕面市の16.4がつづいて第6位となっている。府下では東大阪、泉佐野、豊中、泉大津、大東、守口の各市と三島郡島本町がそれぞれ12.0を越えている。

路線別自動車交通量(大阪市)

第14表参照



凡例
本中の数字は単位千両

第 1 表

道 路

本表は各年度末日現在の道路、橋りよう現況総括表によるものである。市町村道のうち町村道については幅員区分

区 分	実 延 長			種 類 別 内 訳		
	総 数	うち 改良済延長	うち ほ装道延長	道路延長	橋 り よ う	
					橋 数	延 長
昭和 37 年度	12 784.8	4 294.4	3 044.1	12 710.1	6 228	73.7
38	13 357.8	4 864.5	3 616.4	13 282.3	6 377	74.6
39	13 371.1	4 900.1	3 711.5	13 169.0	6 658	75.8
40	13 809.0	5 563.1	4 610.2	13 736.4	6 608	71.8
昭和 41 年度	13 999.6	5 897.8	5 254.0	13 919.3	6 625	76.9
国 府 道 総 数	1 687.1	1 361.1	1 164.0	1 654.4	1 420	30.3
一 般 国 道	276.3	250.0	129.0	266.3	196	8.4
主要地方道府道	573.8	469.3	461.6	561.0	576	12.5
その他の府道	837.0	641.8	573.4	827.1	648	9.4
主要地方道(市道)	34.2	34.2	34.2	33.4	20	0.8
その他の市町村道	12 278.3	4 502.5	4 055.8	12 231.5	5 185	45.8

資 料 近畿地方建設局道路管理課、大阪府土木部道路課、大阪市土木局道路管理課。

第 2 表

橋 り よ

本表は各年度末現在の道路、橋りよう現況総括表によるものである。

区 分	総 数						鋼 橋 数
	30メートル以上		30メートル未満		橋 数	橋 長	
	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長			
昭和 37 年度	6 228	73 725	388	29 346	5 840	44 379	595
38	6 377	74 561	396	30 034	5 981	44 528	600
39	6 658	75 787	399	28 224	6 249	47 563	577
40	6 571	71 496	398	26 416	6 173	45 080	598
昭和 41 年度	6 754	79 376	414	33 341	6 340	46 035	632
国 府 道 総 数	1 549	32 043	172	20 686	1 377	11 357	233
一 般 国 道	325	10 066	49	7 891	276	2 175	65
主要地方道府道	577	12 760	66	8 545	511	4 215	88
その他の府道	647	9 217	57	4 250	590	4 967	80
主要地方道(市道)	20	882	8	748	12	134	15
その他の市町村道	5 185	46 451	234	11 907	4 951	34 544	384

資 料 近畿地方建設局道路管理課、大阪府土木部道路課、大阪市土木局道路管理課。

概 況

の相違するものがあるが分離できない。なお渡船場は外数である。公園等の高速道路は含まれていない。

幅 員 別 内 訳						自 動 車 通 行 不 能
改 良 済			未 改 良			
有 効 幅 員 7.5m以上	有 効 幅 員 5.5m以上	有 効 幅 員 4.5m以上	有 効 幅 員 4.5m以上	有 効 幅 員 3.5m以上	有 効 幅 員 3.5m未満	
1 428.9	1 898.3	967.2	496.6	1 700.7	6 293.1	3 767.7
1 159.0	1 559.7	1 388.1	355.6	1 293.8	6 843.8	3 700.5
1 436.6	1 544.5	1 377.5	343.1	1 331.0	6 796.9	3 698.7
1 242.6	1 653.7	2 194.2	586.2	1 645.9	6 013.9	3 297.2
1 295.2	1 729.1	1 464.4	663.2	1 714.4	5 824.0	3 118.9
504.3	523.2	227.7	74.4	152.0	199.4	38.7
184.6	65.4	-	10.2	15.5	0.5	-
230.0	191.4	47.9	23.0	39.3	42.1	12.7
89.7	266.4	179.8	41.2	97.2	156.8	26.0
34.2	-	-	-	-	-	-
756.7	1 205.9	1 236.7	588.8	1 562.4	5 624.6	3 080.2

う 概 況

橋 長	石およびコンクリート橋		鋼橋と石およびコンクリート橋との混合橋		木 橋		鋼橋と石およびコンクリート橋と木橋との混合橋	
	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長	橋 数	橋 長
23 679	3 708	28 852	139	2 096	1 629	17 693	157	1 405
23 858	4 000	30 904	115	1 849	1 560	17 060	100	891
21 594	4 287	34 313	116	1 882	1 541	16 683	106	901
20 412	4 249	32 861	110	1 824	1 539	15 812	75	587
26 155	4 379	35 468	234	2 640	1 428	14 438	87	675
15 927	1 285	15 452	6	489	25	175	-	-
7 091	259	2 841	1	134	-	-	-	-
6 004	483	6 709	-	-	6	47	-	-
2 832	543	5 902	5	355	19	128	-	-
834	3	27	-	-	2	21	-	-
9 394	3 091	19 989	228	2 151	1 401	14 242	81	675

第3表

国有鉄道各駅別旅客運輸状況

本表は、鉄道統計規定に基づく資料を集計したもので、各駅の乗継人員および新聞雑誌扱いは含まれない。

Table with columns: 駅名, 乗車人員 (総数, 定期外, 定期, 定期率), 手小荷物 (発送個数, 到着個数), 旅客収入 (総額, うち定期, 定期率). Rows include 東海道本線, 環状線, 福野西弁大, 新芦寺桃鶴, 玉森京桜天, 桜島線, 安桜, 関本線, 河柏志八加, 平天今湊.

第3表

国有鉄道各駅別旅客運輸状況(続)

Table with columns: 駅名, 乗車人員 (総数, 定期外, 定期, 定期率), 手小荷物 (発送個数, 到着個数), 旅客収入 (総額, うち定期, 定期率). Rows include 片町線, 長津河内, 四野住, 放鴨片, 阪和線, 美南鶴長我孫子, 杉浅塚三百, 上野富北, 信和, 和泉橋, 新和山.

第4表

国有鉄道各駅別物貨運輸状況

第5表

府下私鉄各駅別乗車人員

南海電鉄、近畿日本鉄道は41年中の一日平均、京阪電鉄は(41.12.2)京阪神急行電鉄(41.12.8)阪神電鉄(41.10.7)はそれぞれ交通量調査による。

前表頭注参照

Table with columns for Station Name, Departure (件数, トン数), Arrival (件数, トン数), and Cargo Receipt (総数, うち小口扱, うち車扱). Rows include various lines like 東海道本線, 環状線, 桜島線, etc.

Table with columns for Station Name, Total Riders (総数), Regular Riders (定期), and Irregular Riders (定期外). Rows include 南海本線, 京阪本線, 南海高野線, etc.

第5表

府下私鉄各駅別乗車人員(続)

Table with columns for station names, total passengers, and breakdown by period (regular, irregular, outside). Includes lines like 阪急京都線, 近畿線, 大阪線, etc.

第6表

大阪市高速鉄道(地下鉄)駅別乗降人員

41年11月8日実施の交通量調査による。

Table showing passenger boarding and alighting for Osaka Metro lines (1, 2, 3, 4) at various stations. Columns include line/station, total passengers, and breakdown by period.

資料 大阪市交通局。

第7表

交通公社等旅客あつ旋および荷物扱状況

Table detailing passenger volume and baggage handling for various transportation companies like 日本交通公社, 大阪本町線, etc. Includes columns for company name, passenger count, and baggage statistics.

第 8 表

市 営 電 軌 ・ バ

乗合自動車については大阪市に関するものでいずれも年度中のものである。なお、車両数、営業キロ数は各年度末現

Table with 10 columns: 年度, 車両数, 営業キロ数, 乗車人員 (総数, うち定期), 乗車料収入, 走行一軒当り (乗車員, 乗車料収入). Includes data for 昭和38-40年度 and 昭和41年度 for 路面電車 and 高速鉄道 (地下鉄).

資料 大阪市交通局企画課。

第 9 表

私 営 鉄 道 事 業 概 況

大阪府内に本社を有する6社のものをまとめたもので、いずれも年度中のものであるが、車両数は各年度末現在の保有数で機関車、客車その他を含む。

Table with 10 columns: 年度, 車両数, 営業キロ数, 輸送実績 (輸送人員, 輸送貨物), 運輸収入 (総数, 旅客収入, 貨物収入, 荷物収入, 雑収入).

資料 各本社総務課。

第 11 表

主 要 交 差 点

昭和41年5月24日に実施した交差点別交通量調査の結果で、7時~19時の12時間について橋断歩道通行者を方向別に

Table with 10 columns: 交差点, 方向, 天6丁目, 神橋, 梅新, 田道, 大南, 江橋, 野阪, 田前, 天満橋, 北2丁目, 淀屋橋.

資料 大阪府警察本部「交通統計」

ス 事 業 概 況

在数である。

Table with 10 columns: 車両数, 営業キロ数, 乗車人員 (総数, うち定期), 乗車料収入, 走行一軒当り (乗車員, 乗車料収入). Includes data for 無軌条電車 (トロリーバス).

Table with 10 columns: 車両数, 一般乗合, 輸送人員, 乗車料収入, 観光バス (乗車員, 乗車料収入).

第 10 表

私 営 乗 合 自 動 車

大阪府下に本社を有する26会社のものをまとめたものである。車両数は年度末現在数である。なお、会社数は年度により変動がある。

Table with 10 columns: 年度, 車両数, 一般乗合 (総走行キロ, 輸送人員), 特定旅客 (総走行キロ, 輸送人員), 観光バス (総走行キロ, 輸送人員).

歩 行 者 交 通 量

1時間位単に調査したものである。

Table with 10 columns: 本2丁目, 本4丁目, 肥後橋, 上本町, 阿倍野橋, 日本橋, 難波, 西口, 湊町, 十三.

第 12 表

交通停滞発生状況

交通停滞とは500m以上の渋滞車列が30分以上継続した状態をいう。

Table with 13 columns (Total, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月) and rows for years (昭和38年, 39年, 40年, 昭和41年), time intervals (時間), and locations (地点).

資料 大阪府警察本部「交通年鑑」

第 13 表

大阪市内主要路線の車両交通量

主要路線について実施している路線別交通量調査の結果で7時～19時の12時間にわたり調査地点を通行した車両について往復の流れをそれぞれ一つとして計上したものである。なお、軽車両は自転車、荷車等のことである。

Table with 10 columns (Route Name, Survey Point, Motor Vehicle, Goods Vehicle, Light Vehicle, etc.) and rows for various routes like 御堂筋, 堺筋, 松屋町筋, etc., with data for 昭和41年 and 昭和40年.

資料 大阪府警察本部「交通量統計表」

第14表

交差点別、時間別

昭和41年5月24日7時から25日7時までの24時間中の自動車の調査対象区分別に交差点を直進、左(右)折したもの

Table with columns for intersection names (e.g., 府下総数, 市域内総数, 1 阪天神橋筋6丁目, etc.), time intervals (7~8, 8~9, etc.), and vehicle counts.

自動車交通量(昼夜間)

に区分して1時間を単位として調査した。交差点は市内40カ所市外13カ所計53カ所。

Table with columns for time intervals (16~17, 17~18, etc.) and vehicle counts for 53 intersections.

第15表

市郡別登録

各年とも年度末現在数。ただし、各年共軽自動車を除く。自動車の種類は道路運送車両法に基くもので、自動車のうち

Table with columns for city/county (市郡), registration year (昭和39年度, 昭和40年度, 昭和41年度), and vehicle type (ト, ラ, ッ). Rows include major cities like 大阪市, 堺市, 豊田市, etc.

資料 大阪府陸運事務所登録課。

第16表 旅客自動車輸送実績

自動車輸送統計(指定統計第99号)によるものである。自動車輸送実績は登録自動車を対象としており、軽自動車および小形二輪車の実績は含まない。なお、消防車、ブルトーザなども除いてある。

Table showing passenger transport statistics by month/year (年月), categorized by vehicle type (乗客, 乗用, 貨切) and mode (乗用, 貨切).

資料 運輸省「陸運統計年報」

自動車数

小型とはエンジンの総排気量が360ccをこえて2,000cc以下のもの、普通はそれ以下Qものとして大別される。

Table showing the number of motor vehicles by type (小型三輪, 乗用車, 特殊用途) and usage (家用, 営業用). Rows include various vehicle categories and their counts.

第17表 貨物自動車輸送実績

前表頭注参照

Table showing freight transport statistics by month/year (年月), categorized by vehicle type (普通車, 小型車) and mode (乗用, 貨切).

資料 運輸省「陸運統計年報」

第18表 大阪国際空港航空輸送量

国内線は日航、全日空、国際線は日航、キャセイパシフィック、中国民航のみの計数である。

Table with columns for Year/Month, Domestic Lines (Passenger/Freight), and International Lines (Passenger/Freight). Rows include昭和39年, 昭和40年, 昭和41年 and monthly data from 1月 to 12月.

資料 運輸省大阪航空保安事務所。

第19表 船舶数

船舶統計調査規則に基づく、近畿海運局管内の日本船舶に関するもので漁船を含まない。(各年7月1日現在)

Table showing ship statistics by year (昭和37年度 to 昭和41年度) and ship type (鋼船, 木船). Columns include number of ships and total tonnage.

資料 近畿海運局運輸部輸送課。

第22表 海上出入

各年間中の数字で「港務統計調査」によるものである。

Table showing maritime trade statistics by commodity (農産品, 畜産品, etc.) and direction (輸出, 移入, 輸入, 移出). Rows include昭和39年, 昭和40年, 昭和41年.

資料 運輸省港務局「港務統計」大阪港務局「港勢一斑」

第20表 入港船舶数

港務統計調査(指定統計)による各年間の数字である。

Table showing ship arrival statistics by port name (昭和39年, 昭和40年, 昭和41年, 大塚, 泉北, etc.) and ship type (汽船, 機帆船). Columns include number of ships and total tonnage.

資料 運輸省港務局「港務統計」。大阪市港務局「港勢一斑」

第21表 大阪港の乗降船客数

大阪市内中央突堤、天保山棧橋および船着場(木津川、安治川)における乗降客数である。

Table showing passenger statistics for Osaka Port by route (航路) and year (昭和37年 to 昭和41年). Columns include passenger numbers for each year.

資料 大阪市港務局「港勢一斑」

貨物数量

Table showing cargo statistics by port (泉北港, 忠岡港, 岸和田港, etc.) and direction (輸入, 移出, 輸入, 移出). Rows include various years and cargo types.

第 23 表

市町村別開通電話加入数

本表は各年度末現在における加入件数である。普及率は人口100人当り開通電話であり、人口は各年10月1日現在である。

Table with columns for City/Town/Village, Telephone Numbers (昭和41, 昭和40), and普及率 (昭和41, 昭和40, 昭和39). Rows include various municipalities like 大塚, 吹泉, 枚次, etc.

資料 近畿電気通信局「統計年報」

第 24 表

加入電信取扱状況

Table showing telecommunication handling status by year (昭和38-41) with columns for Total, City, and Outside City, and a separate column for Reporting.

資料 近畿電気通信局「統計年報」

第 25 表

電話番号簿発行状況

Table showing telephone number book issuance status by year (昭和38-41) with columns for Osaka City and Osaka Prefecture, categorized by 50-sound and profession.

資料 近畿電気通信局「統計年報」

第 26 表

地区別電話の状況

開通電話には臨時加入、普通公衆、委託公衆、局内公衆、特殊局内公衆、専用電話（ふくそう対策用市内着信専用を含む）船、特殊番号（緊急通報用を除く）電話および通話休止中、未設電話は除外、各年度末現在

Table showing telephone status by region (堂島, 天満, 天王寺, 難波, 大阪地方) for the years 昭和41, 昭和40, and 昭和39, including columns for opening and accumulation.

資料 近畿電気通信局「統計年報」

第 27 表

団地自動電話施設状況

昭和41年度末現在の大坂府下関係分である。

収容局	団地名	加入数	団地全戸数	収容局	団地名	加入数	団地全戸数
北尼崎	西武庫	927	2 192	枚方	牧野西	410	648
平野	瓜破西	647	1 716	豊中	豊里緑園	471 188	704 248
堺	白百舌鷺	1 136 346	2 430 808	高槻	総持寺沢	708 180	1 104 1 061
鳳	向ヶ丘	993	2 941	茨木	総持寺	309	682
泉佐野	羽倉崎	205 200	828 800	大津	助松	586	1 510
				箕面	箕面	224	440

資料 近畿電気通信局「統計年報」

第 29 表

有料発信市

公衆電話による市外通話は除く。

区分	総数	4月	5月	6月	7月	8月
昭和38年度	57 699	4 852	4 814	4 718	4 725	5 074
39	51 947	4 394	4 276	4 227	4 254	4 501
40	48 215	4 323	4 170	4 131	4 033	4 105
昭和41年度	438 989	3 992	4 053	3 914	3 795	3 984
堂島地区	4 584	407	436	408	394	402
天満地区	10 363	1 022	973	945	914	956
天王寺地区	5 785	516	504	483	461	494
難波地区	5 444	393	518	497	475	505
大阪地方	17 723	1 652	1 623	1 581	1 550	1 607

資料 近畿電気通信局「統計年報」

第 30 表

国内有料発信

区分	総数	4月	5月	6月	7月	8月
昭和38年度	8 271 074	764 822	698 259	578 897	652 234	698 959
39	8 199 725	718 815	674 913	644 886	661 082	663 107
40	7 648 597	704 988	646 116	540 762	591 886	606 291
昭和41年度	7 247 770	682 661	612 869	512 971	527 286	563 233
堂島地区	225 758	21 917	18 845	14 657	14 850	17 917
天満地区	548 562	54 504	47 668	36 232	40 419	49 211
天王寺地区	285 302	29 537	23 876	19 490	19 626	22 171
難波地区	208 175	18 113	17 480	14 630	15 252	17 432
大阪地方	1 092 727	100 383	93 476	68 391	71 145	83 346
大阪中報	4 886 246	457 207	411 524	359 571	365 994	373 156

資料 近畿電気通信局統計年報。

第 28 表

集団住宅電話施設状況

昭和41年度末現在の大坂府下関係分である。

収容局	団地名	局線数	組合電話機数	団地全戸数	収容局	団地名	局線数	組合電話機数	団地全戸数
城東	関目第一	5	168	300	枚方	中宮第一	5	140	350
	関目第二	10	332	960		中宮第二	7	266	606
都島	都島	9	310	778	池田	緑ヶ丘東	10	500	1 123
吹田	千里山西	7	305	673		五ヶ丘西	8	518	1 090
	千里山東	7	214	390			6	291	487
東住吉	針中野	8	296	499	豊中	服部	5	190	320
						東豊中	10	288	677
堺	金岡	10	561	900		旭ヶ丘第一	13	529	841
						旭ヶ丘第二	5	284	590
						旭ヶ丘第三	5	254	432
							7	297	574

資料 近畿電気通信局「統計年報」

外通話度数

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4 999	5 065	5 322	4 964	4 394	4 300	4 472
4 353	4 378	4 647	4 476	4 276	4 152	4 005
4 210	4 180	4 202	3 864	3 778	3 659	3 560
3 736	3 586	3 707	3 495	3 359	3 181	3 116
414	358	356	361	349	367	331
877	806	827	812	758	739	734
519	471	557	473	442	428	438
398	465	474	454	413	428	423
1 528	1 486	1 492	1 396	1 397	1 219	1 192

信電報通数

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
591 798	750 291	704 473	749 086	642 525	636 632	803 098
634 446	719 376	652 492	722 729	640 792	615 488	852 599
638 474	689 595	623 878	658 544	591 148	571 354	776 561
503 540	668 683	615 777	642 187	601 265	549 057	768 241
15 212	21 195	18 414	21 186	20 063	17 006	24 496
34 652	48 876	42 167	49 773	45 274	40 299	59 487
18 443	25 544	23 456	28 167	23 286	21 051	30 655
14 010	17 815	16 470	21 931	17 212	16 183	21 647
71 164	100 210	88 120	104 945	100 038	83 021	128 488
350 059	455 043	427 150	416 185	395 392	371 497	503 468

第 31 表 郵便局数

いずれも大阪府内に所在する各年度末現在数であるが、「窓口分室」は省いてある。

年 度	総 数	普 通 局				特 定 局			簡 易 局
		計	集 配	鉄 郵	無 集 配	計	集 配	無 集 配	
昭 和 38 年 度	585	48	44	1	3	514	26	488	23
39	614	48	44	1	3	538	26	512	28
40	647	49	45	1	3	567	26	541	31
昭 和 41 年 度	681	49	45	1	3	601	26	575	31

資 料 郵政統計年報。

第 32 表 国内郵便物数(引受)

府下の郵便局が引受けた国内向け郵便物数である。通常第 5 種は廃止、小包有料総数には書籍を含む。

区 分	昭 和 41 年 度			昭 和 40 年 度			昭 和 39 年 度		
	総 数	有 料	無 料	総 数	有 料	無 料	総 数	有 料	無 料
総 常 通 数	862 215	847 687	14 528	846 517	834 136	12 381	816 934	799 357	11 577
普 通 第 1 種	844 377	830 264	14 113	829 916	817 856	12 060	795 715	784 435	11 280
普 通 第 2 種	787 605	776 278	11 327	769 578	759 946	9 632	737 231	728 226	9 005
普 通 第 3 種	470 315	460 490	9 825	180 714	172 755	7 959	168 138	160 551	7 587
普 通 第 4 種	230 348	228 958	1 391	222 205	221 013	1 192	208 397	207 434	963
普 通 第 5 種	86 203	86 091	112	77 697	77 532	165	78 894	78 644	250
特 殊 普 通 速 達 留 書	740 739	740	-	732	732	0	645	645	-
小 包 普 通	-	-	-	288 230	287 914	316	281 158	280 953	205
特 殊 普 通 速 達 留 書	56 772	53 986	2 786	60 338	57 910	2 428	58 484	56 209	2 275
小 包 特 殊 普 通 速 達 留 書	35 492	34 538	954	40 607	39 699	908	37 774	37 049	725
小 包 普 通	21 280	19 448	1 832	19 731	18 211	1 520	20 710	19 160	1 550
小 包 特 殊 普 通 速 達 留 書	17 838	17 423	415	16 601	16 280	321	15 219	14 922	297
小 包 普 通	13 044	12 843	201	11 510	11 349	161	9 647	9 514	133
小 包 特 殊 普 通 速 達 留 書	4 415	4 201	214	5 091	4 931	160	5 573	5 409	164
小 包 普 通	2 128	2 128	-	2 078	2 078	0	1 776	1 776	-
小 包 特 殊 普 通 速 達 留 書	2 287	2 073	214	3 013	2 853	160	3 797	3 633	164

資 料 大阪郵政局「郵務要覧」

第 33 表 外国郵便物数(引受)

府下各郵便局が外国向けとして引受けた郵便物数である。

区 分	昭 和 41 年 度			昭 和 40 年 度			昭 和 39 年 度		
	総 数	普 通	書 留	総 数	普 通	書 留	総 数	普 通	書 留
総 常 通 数	11 847	10 585	1 262	12 122	10 722	1 400	11 743	10 507	1 235
航 空 便	11 463	10 202	1 261	11 758	10 361	1 397	11 390	10 155	1 234
航 空 便 書 状 類	9 363	8 149	1 214	9 352	8 168	1 184	9 110	7 916	1 194
航 空 便 書 状 類 航 空 便 書 状 類	6 310	5 374	936	5 883	5 049	834	5 373	4 608	765
航 空 便 書 状 類 航 空 便 書 状 類	308	308	-	297	297	0	261	261	-
航 空 便 書 状 類 航 空 便 書 状 類	-	-	-	437	370	67	679	560	118
航 空 便 書 状 類 航 空 便 書 状 類	1 267	1 185	82	1 211	1 139	72	1 257	1 177	80
航 空 便 書 状 類 航 空 便 書 状 類	1 229	1 078	151	1 289	1 120	169	1 306	1 119	187
航 空 便 書 状 類 航 空 便 書 状 類	249	204	45	235	193	42	235	191	44
航 空 便 書 状 類 航 空 便 書 状 類	2 100	2 053	47	2 406	2 193	213	2 280	2 238	42
航 空 便 書 状 類 航 空 便 書 状 類	421	399	22	619	426	193	456	437	19
航 空 便 書 状 類 航 空 便 書 状 類	183	183	-	147	147	0	174	174	-
航 空 便 書 状 類 航 空 便 書 状 類	-	-	-	61	59	2	107	105	1
航 空 便 書 状 類 航 空 便 書 状 類	1 262	1 246	16	1 349	1 340	9	1 281	1 270	11
航 空 便 書 状 類 航 空 便 書 状 類	163	157	6	168	162	6	189	181	8
航 空 便 書 状 類 航 空 便 書 状 類	71	68	3	62	59	3	73	71	2
小 包 航 空 便	384	383	1	364	361	3	353	352	1
小 包 航 空 便	211	210	1	201	200	1	193	193	-
小 包 航 空 便	173	173	-	163	161	2	160	159	1

資 料 大阪郵政局「郵務要覧」

第 12 章
商業および貿易